

Course number		U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：日本古代・中世政治文化論I ILAS Seminar :Politics and Culture in Ancient and Medieval Japan I			Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,YOSHIE TAKASHI	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences			Number of credits	2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2026・First semester		Quota (Freshman)	12 (12)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods	Mon.5
Classroom	12, Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. West Wing				Language of instruction	Japanese
Keyword	日本史関連 / 天皇家 / 中世の公家政権					

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

【日本古代・中世史研究書入門】

1冊の研究書を受講者全員で輪読し、日本の政治・社会・文化に対する歴史的思考力を高めることを目指す。大学生や一般の人を読者層として想定した、簡易で比較的新しい書籍を取り上げるが、記述の背景を調べ、根拠となっている文献史料の原典を読解することによって、記述内容を批判的に検証する。そうした作業を通じて、歴史に対する思考力・感覚・想像力を磨くことを目指す。今期は、本郷恵子著『天皇家の存続と継承』を取り上げ、中世を転換点としながら現代まで存続する天皇制の特質について考える。

[Course objectives]

古代・中世の日本の歴史に関して正確で幅広い知識を獲得するとともに、文献史料の原典を自分の力で読解し、提示された学説を吟味して、自分の見解を対置する能力や、歴史像を組み立てるための技術を身につける。

[Course schedule and contents]

天皇家は、なぜ今日まで存続することができたのか。これを考えるには、中世の天皇を理解することが有効である。上皇となった者が天皇に代わって政務をとる方式を院政というが、院政の前提となる天皇の譲位は、意中の後継者への確実な継承を直接の狙いとしたものであり、院政は副次的に生まれたに過ぎない。律令制に発する太政官体制が、理念先行の演繹的体系だったのに対し、院政は、実態の集積から導き出された帰納的方策だったといえるだろう。朝廷＝公家政権が創出し、維持してきたものに、官位の体系と儀礼や年中行事の体系とがある。武家による官位体系への依存や、儀礼・年中行事に関する有職故実の存在は、朝廷の存在意義を支える意味をもっていた。大規模な災害に見舞われると、公家政権と武家政権がそれぞれ対策を講じたが、両者の対策は全く逆のもので、武家政権が現実的な支援を行ったのに対し、公家政権は攘災の祈りを行った。これは、天皇が神とのあいだに特別な回路をもっていると認識に由来する。その他、婚姻政策や血統管理に関し、古代から中世への変遷をみることも、天皇が存続した理由や、天皇制の課題を考える上で示唆を与えてくれる。

本郷恵子著『天皇家の存続と継承』を輪読しながら、中世を転換点としながら現代まで存続する天皇制の特質を把握する。あわせて、根拠とされる資料を分析し、内容の可否を検討する。

ILASセミナー：日本古代・中世政治文化論Ⅰ(2)

- 第1回 イントロダクション
第2回 天皇制の課題を中世史から考える
第3回 中世の開始と天皇制（1）
第4回 中世の開始と天皇制（2）
第5回 官位と儀礼（1）
第6回 官位と儀礼（2）
第7回 官位と儀礼（3）
第8回 危機と天皇、神との回路（1）
第9回 危機と天皇、神との回路（2）
第10回 世襲の方式（1）
第11回 世襲の方式（2）
第12回 血統の確保・血統の管理（1）
第13回 血統の確保・血統の管理（2）
第14回 天皇制はどこへ向かうのか／総括
《期末試験》
第15回 フィードバック

※上記の各回の内容は取り上げる書籍の目次によるものである。

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点（授業内での報告および発言・50点）と期末試験（レポート・50点）の合計で成績評価する。

[Textbooks]

本郷恵子『天皇家の存続と継承 中世の転換から現代へ』（吉川弘文館）ISBN:978-4-642-30622-5
（2025年刊行、1800円＋税）

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

全体の進行をあらかじめ通知するので、各回の輪読箇所を読み、授業内容を想定しながら予習をすること。

[Other information (office hours, etc.)]

授業はゼミ形式で、発表および質疑への参加が必須である。

[Essential courses]